

令和5年度 施設自己評価

【保育方針と目的】

椿保育園 御門台

- 保育理念 一人ひとりの子どもを大切に、保護者から信頼され地域に愛される園を目指す
- 保育方針
 - ・その子の今を大切に丁寧にかかわる保育
 - ・人とかかわる力を育てる保育

【自己評価 集計】

(回答 10 名中)

		大変できた=A	大体できた=B	あまりできなかった=C	無回答=D
保育目標について	(1) 保育理念の具体化に向け、乳児の実態を踏まえた保育目標を設定しているか	2	6	2	0
	(2) 目標は施設の特徴を生かしているか	2	7	1	0
	(3) 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	3	5	2	0

〈努力点・改善点〉

・子ども一人ひとりの発達や状況を踏まえた目標を意識しているが、それを全職員で話し合ったり振り返って評価することが丁寧に出ていなかった。全職員で子どもの姿を中心に保育について話し合う事で、互いに様々な視点や気づきが得られる。こうした取り組みの積み重ねが保育の質を高めるとともに職員一人ひとりの意欲の向上に繋がる。
 ・来年度から1ヶ月毎クラスの振り返りを行い、それを全職員で共有していく。そして評価を通じて保育の改善・充実の手がかりや手立てを次の保育に繋げていく。保育士一人ひとりが子どもの理解を深めていく。

保育について	(1) 指導計画は乳児の実態に即して作成しているか	3	5	1	1
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	3	6	1	
	(3) 自己評価を基に保育の改善に努めているか	3	6	1	
	(4) 分かりやすい温かな言葉で、子ども一人一人に穏やかに話しかけているか	7	3		
	(5) 一人一人個に合った対応が丁寧にできたか	2	8		
	(6) 休息時間に眠くない子どもへの配慮をしているか	6	4		
	(7) 甘えや要求に対して丁寧に応えられたか	3	7		
	(8) 異年齢の交流が自然な形で行われるように配慮をしているか	2	6	1	1
	(9) オムツ交換は優しく声をかけながら行っているか	6	4		
	(10) 子ども一人一人の健康状態を、職員相互で確認し情報を共有しているか	6	3	1	

〈努力点・改善点〉

・今、その子はどんな気持ちでいるのか？を大切にしながら保育が展開されている。「こうしたかったんだね」と子どもの気持ちを受け止めた言葉が掛けられたり、保育士同士でも子どもについて気がついたことを語り合う姿が増えてきているので子ども理解が深まっている。
 ・異年齢児の自然な交流は、子どもに必要な体験が得られるようねらいを明確にし、職員間で共有・連携して保育を行うようにしている。
 ・登園時から健康観察を行い、朝礼等で情報共有している。体調に合わせた保育や些細な変化を見逃さないように配慮・対応を全保育士で心掛けている。
 ・保育所保育指針は定期的に読み込んでいく必要がある。

運営	(1) 職員相互がそれぞれの立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	3	4	3	
	(2) 打ち合わせの回数、時間内容は適切か	1	4	5	
年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか	3	5	1	1
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳児の実態に即して設定しているか	3	5	1	1
	(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	1	6	3	
保健・安全指導	(1) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	4	6		
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、家庭への啓発を行っているか	3	5	2	

	(3) 乳児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	2	5	3	
健康管理・食事	(1) 登園時に、一人一人の子どもの健康状態を把握し、それをその日の保育に生かしているか	6	4		
	(2) 感染症が発生した時マニュアルに基づいて対応しているか	2	5	3	
	(3) 残さず食べることを過度に強要しないように配慮しているか	6	4		
	(4) 子どもが「楽しく、おいしく」味わえるように雰囲気作りを工夫していますか	6	4		
保育環境	(1) 玩具・遊具は消毒するなど、衛生面に気を付けていますか	5	5		
	(2) 季節に合わせた保育室の装飾等を工夫していますか	4	5	1	
	(3) 保育中にあなた自身の声の大きさに配慮していますか	4	6		
	(4) 子どもが心地よく過ごすことができるよう、換気や温度・湿度に配慮していますか	5	4	1	
運営管理	(1) 会議などで子どもの最善の利益を第一に考えて、発言していますか	3	5	2	
	(2) 自分の保育についての課題を具体的に見つけようと努めていますか	2	6	2	
	(3) 園長や副園長との間で質問をしたり意見を交わしたりできるような、良好な関係を築いていますか	5	4	1	
	(4) 職員との間で質問をしたり意見を交わしたりできるような、良好な関係を築いていますか	3	7		
	(5) 健康・安全な生活に必要な習慣や多度育成の為、家庭への啓発を行っているか	2	3	5	
	(6) 園長、副園長などの指示や職員会議などでの結論が自分の意見と違う時も、それに従って気持ちよく協力していますか	6	3	1	
	(7) 職員のそれぞれの役割と、あなたがはたすべき役割を理解していますか	3	6	1	
	(8) 自分の保育実施について、園長や副園長からの意見を感情的にならずに受け止めることができますか	7	2	1	
	(9) 自分の保育実施について職員から意見を聞くように努めていますか	3	7		
	(10) 園の内外における研修に積極的に参加したり、専門書を読むなどして、保育の質の向上に努めていますか		7	2	1
	(11) 職務上知り得た子どもに関する情報についてたとえ自分の家族や友人にも話さないようにしていますか	7	3		
	(12) あなたの保育に批判的な保護者に対しても、突き放さないで意見や要求を聞こうとする姿勢が持てますか	5	5		
	(13) 事故や災害が生じた際の対処や方法について、マニュアルなどを通じて十分に理解していますか	3	5	2	
	(14) 園だより、クラスだより等で施設の情報を発信していますか	5	4	1	

〈努力点・改善点〉

・ヒヤリハットや事故報告は職員全体で共有し、速やかに改善を行うようにする。
 ・事故や災害時の対応は、フローチャートで可視化している。定期的に心肺蘇生法や119番の仕方などのシュミレーションを行うことで実践的な対応ができるよう努めている。避難訓練でも園全体で課題を話し合い改善に向けて考えることができた。
 ・食事は調理員も保育室で子どもの様子を見ることを大切にしている。食材についてわかりやすく説明したり、食育の一環で野菜を育て、収穫、調理したりと子どもが「楽しく、おいしく」味わえるように工夫している。
 ・園だよりでは、子どもの育ちの姿を家庭に伝えられるよう充実した内容の発信を心掛けている。

【園から】

○組織目標に対する理解を深め、共通理解を図ることを丁寧に行う。どんな園をどんな保育者を目指すのか全職員で想いを共有し、その保育理念や目標に沿った保育とは具体的にどのようなものかを職員間で話し合いながら一貫性のある保育実践を行っていく。子どもを中心に自分たちの保育のあり方を考え、現状や課題を全体で検討していく。

○来年度より、色々な経験ができたという保護者の方の思いを大切に、保育活動の中にも英語であそぼうやリズムあそび、インターラクティブ読書を取り入れた取り組みを始めている。歌ったり踊ったりと遊びの中に取り入れることで楽しく学び、自然と身につけているような提供をしていく。わくわくする体験を通して興味や自己表現の幅を広げ主体的な学びへ向かう意欲の芽を育てていければと思う。今後も当園の取り組みや大切にしていることを発信していきたい。